
今週の本棚

今週の本棚・情報:図書館の力を信じて

東日本大震災では、図書館もまた大きな被害を受けた。『みんなの図書館』(図書館問題研究会編、教育史料出版会・735円)の3月号では、「図書館の力を信じて―震災、その後」と題して各地の図書館職員らから寄せられた報告を掲載している。

震災で多くの図書館が一時閉鎖を余儀なくされた。茨城県鹿嶋市立中央図書館は、3月15日に開館すると、新聞やインターネットの情報を求める人であふれた。図書館職員は自治体の職員でもある。職員らは被災者対応に従事しつつ、図書館業務をこなした。市民にとって今必要なものは何か、図書館の役割とは―と苦悩しながら奔走する姿が浮かび上がる。

「(宮城県)女川町に町民図書館を」と訴える福島大名誉教授の今野順夫さんは「図書館は、単に本を蔵書するだけでなく、その土地の文化や、住む人々の生活の具体的な支援に役立つ拠点とも思われます」と記している。

毎日新聞 2012年3月11日 東京朝刊

[今週の本棚 アーカイブ一覧](#)